

地下鉄伝馬町駅における歴史散策観光案内図 「伝馬町駅発 熱田区まちかど発見！マップ」の設置について

このたび、市バス・地下鉄の沿線情報の発信により利用客の拡大をめざす名古屋市交通局では、熱田神宮周辺地域の魅力向上やにぎわい創出をめざし事業を展開している熱田区役所との連携により、**名古屋市営地下鉄駅では初めての「歴史散策観光案内図」を伝馬町駅※構内に設置することになりました。**

※地下鉄伝馬町駅は、かつて東海道随一の宿場町であった「宮」の中心地に位置し、周辺に点在する「宮の渡し公園」や「熱田神宮」、「白鳥庭園」などの史跡、名勝へのアクセスに便利な駅となっています。

記

1 伝馬町駅における歴史散策観光案内図の概要

(1) 名称

「伝馬町駅発 熱田区まちかど発見！マップ」

(2) 設置場所

地下鉄伝馬町駅 券売機付近 ※別紙参照

(3) 大きさ・規格

内照式地図及びデジタルサイネージ（広告付き）

全体の大きさ 縦 1510 mm×横 2470 mm

地図・観光ガイド・広告の大きさ 縦 1160 mm×横 1499 mm

デジタルサイネージの大きさ 縦 1040 mm×横 585 mm

(4) 掲載内容

○伝馬町駅周辺の歴史観光地図（内照式地図面）

熱田区の史跡散策路（全5種類）や史跡、名勝等を地図で案内するもの

- ・熱田区内のマップ（現在地及び史跡散策路のコース表示）
- ・「熱田区まちかど発見！」（伝馬町駅周辺の名所や歴史資料を紹介）
- ・店舗等の案内（広告）

○デジタルサイネージ（タッチパネル面）

タッチパネルに触れると、音声付動画又は静止画で、史跡、名勝を案内するもの

- ・熱田区史跡散策路5コース
- ・熱田の古地図
- ・周辺施設紹介「白鳥庭園」（名古屋学院大学作製）
- ・周辺施設紹介「宮の渡し公園」（名古屋学院大学作製）
- ・市バス利用案内「伝馬町から市バスで宮の渡し公園へ」

など、全10コンテンツ

※タッチパネル操作時以外はスポンサー企業のCMや熱田区内の案内等を放映

（5）特徴

○運営管理方法

現在、各駅において「地下鉄駅周辺案内図」を設置管理している広告代理店（表示灯株）が、新たに歴史散策観光案内図「伝馬町駅発 熱田区まちかど発見！マップ」についても、スポンサー企業の協賛を得ながら、設置及び運営管理を行います。**駅周辺の歴史や観光案内を兼ね備えた広告媒体として、名古屋市営地下鉄駅では初めての取り組みです。**

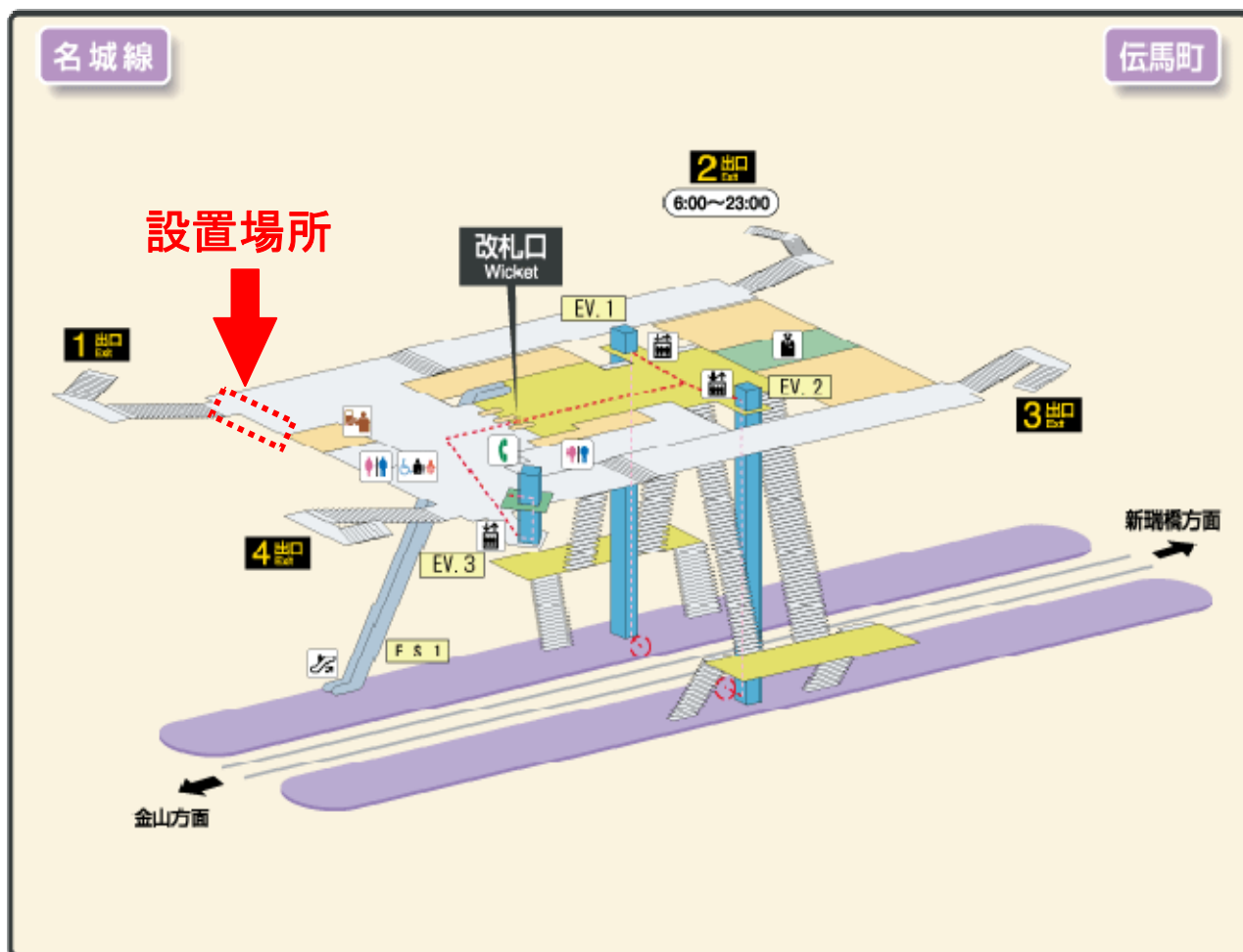
○デジタルコンテンツの提供

地図情報や主なコンテンツの制作・編集及び更新は広告代理店が行いますが、**歴史観光案内の写真・動画や資料は熱田区役所が提供しています。熱田区役所では、地元大学（名古屋学院大学）との連携により、史跡をイメージしたキャラクターや周辺施設を紹介するオリジナル動画の制作・提供を受けています。**

2 運営開始日

平成26年12月26日（金）始業時から

○設置場所



○設置後イメージ



○歴史散策観光案内図全体イメージ



内照式地図面

タッチパネル面

○「熱田区まちかど発見！」(各パーツイメージ)

熱田神宮

三種の神器の一つ草薙神剣（くさなぎのみつるぎ）を祀ったのが起源で、景行天皇 43 年（113）に鎮座されました。古くから「熱田さん」と呼ばれ、6月5日の熱田まつり（尚武（しょうぶ）祭）で親しまれています。宝物館には、刀剣、鏡など6,000余点が公開されています。



宮の渡し公園

江戸時代、東海道五十三次の宿駅であった熱田が「宮」とも呼ばれた時代、この公園一帯は、熱田から桑名への海上を渡る船着場として栄えており「宮の渡し（七里の渡し）」とも呼ばれていました。この渡し場は城下町名古屋の玄関口として、また人と物資を輸送する湊としても重要な役割を果たしており、松尾芭蕉やシーボルトなど多くの偉人が訪れています。



堀川と名古屋国際会議場・白鳥庭園

堀川は、名古屋城築城にあたり、慶長15年(1610)、福島正則が開削したと言われています。また別に材木置場と御船蔵として大池が掘られ、その跡地は平成元年(1989)の世界デザイン博覧会の会場として利用され、名古屋国際会議場・白鳥庭園などが整備されました。



東海道五十三次之内「宮」(初代広重画)

熱田神宮の祭り「端午(たんご)馬の塔」を描いた木版画です。「馬の塔」は、織田信長が桶狭間の戦いで勝利したことを清州城へ、馬を走らせたことがはじまりとも言われています。木版画には馬に飾る装飾など当時の様子が描かれています。

《熱田区歴史資料室収蔵》



東海道四十一「五十三次之内宮」

伝馬町駅から南へ向かった「宮の渡し公園」は当時湊町「熱田」の玄関口として栄えました。東海道唯一の海路「宮」～「桑名」の宿場町として多くの旅人で賑わい、当時存在した「浜鳥居」と共に、その様子は多くの浮世絵などに描かれています。

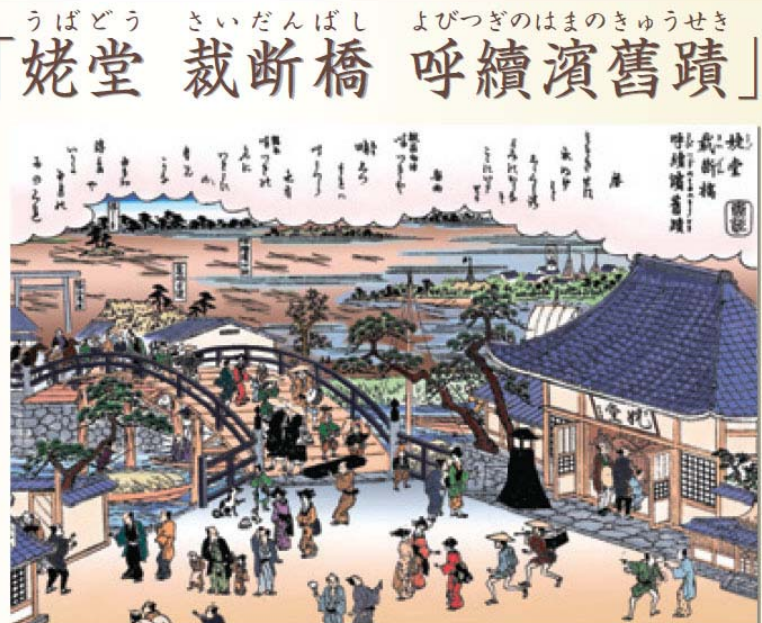
《熱田区歴史資料室收藏》



尾張名所図会「姥堂 裁断橋 呼続濱舊蹟」

江戸時代に描かれた姥堂と裁断橋（熱田区伝馬町）です。橋の向こうは現在の南区呼続にあたります。裁断橋の擬宝珠（ぎぼし）には、小田原の合戦の際、18歳で病死した息子への母の想いを綴った銘文が刻まれています。擬宝珠（市指定文化財）は名古屋市博物館に保管されています。

《提供：名古屋都市センター》



○タッチパネル面の動画（部分イメージ）



周辺施設紹介「宮の渡し公園」（名古屋学院大学制作）より



市バス利用案内「伝馬町から市バスで宮の渡し公園へ」より